

# 1周440メートル ぼくらの遊び場ができたぞ 児童交通公園が完成

昭和四十九年から始められた児童交通公園が、四年の歳月をかけたこのたび、大野町五区、柴町裏の河川敷を利用した、総面積七〇七四平方(一週四四〇)の町内では初めてのりっぱな施設が完成、

八月八日、降りしきる雨の中で関係者一五〇人が参席し、開園式が行われました。  
この公園は、子どもたちの憩いの場と同時に、正しい交通マナーを身につけ最近特に多い自転車事故を防止する意図から、県の許可と河川敷占有者の同意を得、一八〇〇万円の建設費で完成したものです。子どもたちが自然に交通マナー、自転車乗りの技術を会得

できるようにと、自動車の練習コース同様、直線、曲線コースや、標識、横断歩道などが設けてあります。  
当日は、新潟土木事務所長、町長、議長、三氏によりテープカットが行われ、そのあと交通指導員らにより、自転車乗りの模範指導会が同自治会児童を対象に実施、指定されたコースを正しく、楽しそうに走っていました。

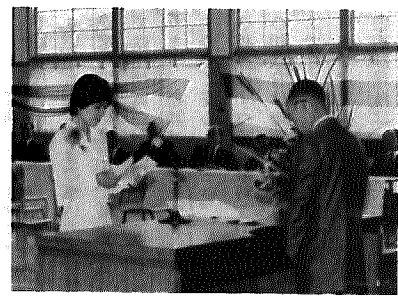


## 祝 成人 一三〇人が出席

恒例の成人式が、お盆の帰省者を考慮に入れ、八月十四日、黒埼中学校体育館で、百三十人の出席のもとで行われました。  
式は午前九時三十分、野崎太平一公民館長のあいさつにつづいて成人代表の中山徹さん(新町)が「私たちは成人になったことを強く自覚しよき職業人、社会人となり町の発展に努力する」と心強く

## 自衛官募集

自衛官は特別職国家公務員です。安定した生活が保証されています。一八才以上二五才未満の方ならどなたでも自衛官になれます。くわしくは、役場総務課へ問い合わせ下さい。



宣誓、この後、来賓から励ましの言葉を受け、これに答えて近藤紀美子さん(二ノ丁)が「これからすべての行動に責任をもち、郷土の発展と若い力を精一杯生かしていきたい」と成人を代表して抱負を述べ、最後に新潟市郷土資料館長池正栄先生の「私の人生感」と題しての記念講演に真剣に耳を傾け、正后式は終了、記念品を手にしばらくぶりに会った友と語りながら帰途を急いでいました。

## 陸 上

# 最優秀選手に岡田 務君が 小松志保子さんが

## 記録会

### 記録的にはもう一つ

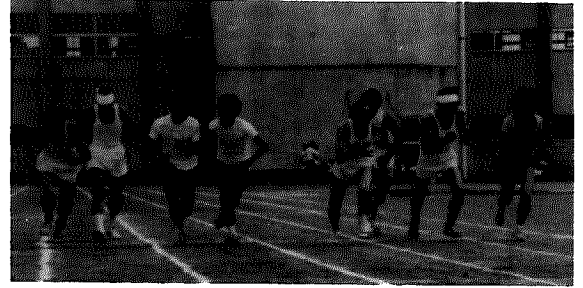
八月八日、黒埼中学校グラウンドで、第三回陸上記録会が、昨年を上回る多数の参加者で熱戦が展開され、各種目に好成績をおさめた岡田 務君(中三)小松志保子さん(中二)の二人が最優秀選手に選ばれトロフィーを手に喜びをかみしめていました。

た、長谷川四郎さん(60才金巻)は、千五百と三千メートルの二種目に出場、自己のペースで完走、万雷の拍手を浴びていました。両選手は「毎日早朝マラソンをしてきたため、なんとか完走することができました。来季はもっとたくさんの方が参加してほしいですね」と話していました。

この大会は今回で二回を数え、陸上競技人口の拡大と、暑さに負けない健康な体力づくりを目的に始められたもので、今回も好記録は生まれなかったものの、年々参加者が増えていることから、関係



最優秀選手賞のトロフィーを手に喜びの両選手



者も目を細めていました。  
最優秀選手、優秀選手は次のとおりです。  
◎最優秀選手 岡田 務 百計 十二秒二(初二) 小松志保子 百計 十三秒三(二年連続)  
◎優秀選手(は)は学校名学年 鈴木憲児(大野) 源川等子(

## 早起き野球大会 スワジンジャーズに凱歌

第一回早起き野球大会は、三十三チームが参加して、四十日間にわたる熱戦が繰り広げられ、大野スワジンジャーズチームが初優勝を飾りました。  
六月十九日から始められたこの大会は、毎日早朝五時三十分から町営球場で激しい星のつぶし合いが行われ、予選は三十三チームを8ブロックに分け、優秀チームを選出計8チームで決勝トーナメント式で戦われ、決勝戦はスワジンジャーズが鳥原新地RアンドPを3対1で降し、長期大会にピリ

## 「暮しの窓」

### 喫煙の注意

喫煙者が非喫煙者にくらべ、心筋梗塞で死亡する率が三倍もあるという報告があります。これは喫煙者に、心臓を養っている動脈が硬化する病氣、すなわち冠動脈硬化が多いことやニコチンや一酸化炭素が心臓に負担をかけることが原因と考えられています。  
また、タバコを吸うと血液の固まりがでやすくなり、動脈硬化で細くなった血管が詰まって心筋梗塞を起こすという説もあります。  
オドをうちました。

優勝 大野スワジンジャーズ  
準優勝 鳥原新地RアンドP  
三位 柳田パパーズ  
森いとこ

